



第1期(2022年度)事業活動報告

2022年10月1日～2023年9月30日

福島県福島市飯坂町字一本松 11-7



1. データ収集と公開事業

■市民放射能測定室等のデータ収集と公開事業

2022 年 10 月～2023 年 9 月までの食品・環境試料データベース登録公開件数 724 件（そのうち、2023 年 6 月 20 日～9 月までの登録公開件数については 136 件）
同期間の土壌データベース登録件数 11 件（2023 年 6 月 20 日～9 月までは 9 件）

・ホームページ閲覧者数 6 万人、7 万 2000PV

■放射能汚染の現状を記録し、未来へ伝える事業

・出版事業（出荷数）

図説 17 都県放射能測定マップ＋読み解き集（増補版）86 冊（含献本分）

図説 17 都県放射能測定マップ＋読み解き集（旧版）5 冊（出荷数-返本）

Citizens' Radiation Data Map of Japan 25 冊

2022 年 10 月 増補版の電子書籍化を実施した。

■ウェブサイト・システムについての活動・更新

- ・2022 年キノコプロジェクト解析結果公開
- ・2023 年【抗議文】東京電力福島第一原子力発電所からこれ以上の環境放射能の放出をすべきではありません！一トリチウム等 ALPS 処理汚染水の海洋放出を止めましょう！ー公開
- ・2023 年タケノコ・山菜プロジェクト解析結果公開
- ・NPO 法人になったことによる、団体・定款等変更、賛助会員募集ページの制作

■システム保守

- ・ウェブサイト土壌マップ表示における不具合の修正
- ・非標準検体の土壌データについてのルールの確認及び表示時のシステム仕様の追加開発
- ・食品 DB において、品名を直接検索した際の不具合を修正
- ・土壌マップの「今年」(this year)表示不具合の臨時的修正。根源的な改良はまだ。 z

2. 市民放射能測定室サポート事業

■測定器精度確認事業

基準玄米 作成数 1 キット、利用数 0 測定室

■測定室活動紹介事業 → 各測定室が対外的に行う事業の広報支援（Facebook、ウエ

ブサイトブログにて) Facebook 4 回、ウェブサイトブログ 1 回

■測定室交流事業 → メーリングリストの運営 (参加アカウント数 62 人) 183 スレッド

■技能継承事業

「市民測定室のつくり方」プロジェクトの発足

実践・市民放射能測定室の作り方～市民が培った確かな測定技術の継承を目指して～
各地の市民測定室を対象とした質問票調査・インタビュー調査と、それを踏まえた
ガイドブック『市民放射能測定室の作り方 (仮題)』の出版に向けたプロジェクト。

■掲載実績

同志社大学社会学部メディア学科 准教授 阿部康人先生の論文に掲載 (2023 年 3 月)

みんなのデータサイトが無償公開している 100 年マップ、2020 年 17 都県マップに
ついて論じています。

Temporal Citizen Science After Fukushima

<https://ijoc.org/index.php/ijoc/article/view/18484/4068>

Remembering and Forgetting Fukushima Where Citizen Science meets
Populism in Japan

<https://ijoc.org/index.php/ijoc/article/view/19065/4107>

3. 放射能測定・調査事業

■2022 キノコ測定プロジェクト

期間：2022 年 9 月～11 月

調査対象：放射能汚染に指定された 17 都県に生息する野生キノコ

参加測定室：8 測定室 (あがのラボ、那須希望の砦、東林間測定室、C-ラボ、Team め
とば、はかるなら、阪神・市民放射能測定所、ふくしま 30 年プロジェクト)

測定検体数：106 件 (うち 19 件は名称不明キノコ)

事業費：245,532 円

検体採取協力：全国の菌類懇話会のみなさま

概要報告：106 件の測定検体のうち、88% (93 件) に放射性セシウムを検出しました。

そのうち食品基準値である 1 キログラムあたり 100 ベクレルを超えたものは 25 件
(24%) でした。

詳細報告ページ URL : <https://minnanods.net/analyze/food-data/2022autumn.html>

■2023 タケノコ・山菜測定プロジェクト

期間：2023/4/2～2023/7/27

参加測定室：11 測定室（はかーる、あがのラボ、那須希望の砦、森の測定室滑川、東林間、はかるなら、てとてと、めとば、C-ラボ、阪神、ふくしま 30 プロジェクト）

測定検体数：タケノコ 58 検体（解析に使用した件数）

山菜 185 検体（解析に使用した件数）

事業費：298,435 円

概要報告：タケノコ 58 件のうち、放射性セシウムを検出したのは 62%で、食品基準値超過は福島県双葉郡浪江町のハチク 671 Bq/kg の 1 件のみでした。

同様に、山菜 185 件のうち、検出は 42%で、基準値超過は 5.9%でした。中でもコシアブラの基準超過率は 26.5%と高く、山菜の中での高濃度傾向は続いています。

報告ページ URL：<https://minnanods.net/analyze/food-data/2023spring.html>

4. 講演会、学習会事業

今年度は以下の通り、計 6 回の事業を実施した。

2022.12.23 コープ自然派大阪 オンラインイベント（講師：大沼淳一）15 人

2022.12.26 小児甲状腺がんについてのオンライン学習会（講師：井戸謙一先生）申し込み 34 人。その後好評につき井戸先生と参加者の許可を得て録画を公開し、335 回再生。

2023.4.13 コープ自然派大阪 オンラインイベント（講師：中村奈保子）15 人

2023.5.30 道の駅の野生キノコは今（講師：大沼章子）20 人+39 再生

2023.7.4 原子力市民委員会オンラインイベント CCNE 連続オンライントーク「原発ゼロ社会への道」2023 第 3 回 原発事故による土壌と食品汚染の現況と今後のあるべき規制（講師：大沼淳一）約 120 人

2023.8.26 全国ネット周年イベント 食品の放射能は今 市民測定の日線から（講師：中村）88 名申し込み

5. 市民連携をはかる事業

国内外の関連団体との情報交換・交流事業として下記 4 団体と連携を行った

■関東子ども健康調査支援基金

基金が実施している甲状腺検査結果との土壌汚染データとの照合に協力（土壌プロジェクトデータ提供の覚書交わす）

■Manhattan Project for Nuclear Free World

交流会、勉強会の参加、参加呼びかけ

■ 原子力市民委員会

広報面での連携・協力、イベントへの参加

■ NPO 子ども全国ネット

イベントへの参加、ミーティングへの参加

■ the 10th FUKUSHIMA, Nippon AWAKES

活動への参加、データ提供等の連携

6. その他の事業

■ NPO 法人設立に向けた活動

2022 年 12 月 3 日・4 日に開催した第 9 期みんなのデータサイト総会にて、NPO 法人になることが承認された。同日設立準備委員会を立ち上げた。設立に向け準備を進め、2023 年 3 月 21 日に NPO 法人設立総会を開き任意団体から NPO 法人化を承認。

2023 年 3 月 25 日 理事会開催 所在地の確定、顧問任命等

2023 年 5 月 16 日 福島市へ設立認証申請提出

2023 年 6 月 8 日 福島市より設立認証

2023 年 6 月 20 日 法務局で登記 NPO 法人となる。

■ 管理事業 会議実績

運営ミーティング 18 回

フリーズームミーティング 1 回

総会準備・作業ミーティング 10 回

総会（任意団体）1 回

NPO 法人設立準備ミーティング 16 回

NPO 法人設立総会 1 回

助成金についてのミーティング（高木・LUSH）計 9 回

事務局ミーティング 5 回

つくりかたミーティング（測定室サポートグループミーティング） 6 回

イベントチームミーティング 3 回

データ収集と公開チームミーティング 3 回

外部団体との打ち合わせ 5 回

その他（単発ミーティング等）2 回

合計 80 回

■ 制作物

NPO 寄付チラシの新規作成及び配布事業

■助成金実績

JIM-NET：30 万円（2022 キノコプロジェクトに対して）

12 人の絵本作家によるおうえんカレンダープロジェクト：（継続助成） 20 万円（受け取りは来年の 3 月の予定）キノコ・タケノコ測定プロジェクト

高木仁三郎市民科学基金：40 万円（実践・市民放射能測定室の作り方～市民が培った確かな測定技術の継承を目指して～）（通称：つくりかたプロジェクト）

■会員数

正会員 26 名

賛助会員 6 名